

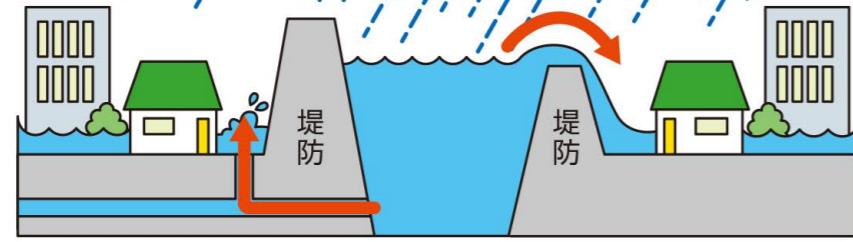
風水害対策

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などによる自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしています。このような自然災害から身を守るために、さまざまな自然現象について正しい知識を持ち、自分自身への身近な危険として認識し、災害時にとるべき行動を平時から身につけておくことが重要です。

氾濫の種類

内水氾濫とは

市街地などで大雨が降ると、側溝や排水路だけでは雨水を流しきれなくなることがあります。あふれ出した雨水により、建物や土地・道路等が水に浸かってしまうことです。雨が降り始めてから短時間で浸水することもあるので注意が必要です。



外水氾濫とは

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して、家屋や田畠等が浸水することです。外水氾濫が発生すると、大量の水が流れ込み、広い範囲で浸水し、水が引くまでに時間がかかります。

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

特別警報

数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表されます。危険な区域から避難できていない方は、直ちに安全を確保しましょう。

警報

重大な災害のおそれがあるときに発表されます。

注意報

災害のおそれがあるときに発表されます。防災ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。

避難のながれ
雨が
降り始める

？どこへ？

- 歩いて行ける近くの避難所
- 親戚、知人の家など、より安全な場所

避難に時間を要する方は
「高齢者等避難」で避難開始。

「避難指示」を 聞いたら みんな避難



災害
発生

その場、そのとき、
最も安全な場所へ

？どこへ？

- 自宅の高いところ
- すぐ近くにある高い建物など

同じ建物でも
上層階など、
浸水から身を守れる
場所へ避難しましょう。

風水害対策

雨の強さと降り方

やや強い雨 ザーザーと降る

地面からの跳ね返りで
足元がぬれる



10mm以上～20mm未満

強い雨 どしゃ降り

傘をさしてもぬれる。
ワイパーを速くしても見
づらい



20mm以上～30mm未満

激しい雨 バケツをひっくり返した ように降る

道路が川のようになる。
高速走行時、車輪と路面
の間に水膜が生じ
ブレーキが効かなくなる



30mm以上～50mm未満

非常に激しい雨 滝のようにゴーゴーと 降り続く

寝ている人の半数くらい
が雨に気がつく。水しぶき
であたられ一面が白っぽ
くなり、視界が悪くなる



50mm以上～80mm未満

猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫 感があり恐怖を感じる

傘は全く役に立たなくな
る。車の運転は危険



80mm以上～

風の強さと吹き方

やや強い風

風に向かって歩きにくくなる。
傘がさせない。樹木全体や電
線が揺れ始める



平均風速
10m/s以上～15m/s未満

強い風

風に向かって歩けない。転倒
する人もいる。雨戸やシャッタ
ーが揺れる



平均風速
15m/s以上～20m/s未満

非常に強い風

何かにつかまつて立ていら
れない。飛来物によつて負傷
するおそれがある



平均風速
20m/s以上～30m/s未満

猛烈な風

屋外での行動はきわめて危
険。電柱や街灯で倒れるもの
がある。ブロック塀で倒壊す
るものがある



平均風速
30m/s以上

台風について

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

屋根

- 瓦のひび、われ、ずれ、はがれないか
- トタンはめくれやはがれがないか

ベランダ

- 鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは室内へ

窓ガラス

- ひびわれ、窓枠のガタツキはないか。また強風による飛来物などに備えて、窓に飛散防止フィルムを貼る。外側から板でふさぐなどの処置をする

プロック塀・板壁

- プロック塀にひびわれや破損個所はないか
- 板壁にぐらつきや腐りはないか

テレビアンテナ

- 錆びたりゆるんだりしないか。不安定なアンテナは固定する

雨どい

- 雨どいに落ち葉や砂などが詰まっているか。断目のはずれや塗料のはがれ、腐りはないか

プロパンガス

- 固定されているか

台風の大きさと強さ

台風のおおよその勢力を示す目安として、風速(10分間平均)を基に台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

■大きさの階級分け■

大きさ	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

■強さの階級分け■

強さ	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上